

(こちらのメールマガジンは転送可となっています。
御友人や御知り合いでタイに関心ある方にはどんどんお伝え下さい。)

□□ No 1 タイ株初心者編です ■■

前回に続いてタイの証券口座のお話をしようと思っております。

タイの地場証券会社と日系の証券会社
こちらの大きな違いはやはり手数料の大きさです。(これはブログでも説明済みですね)
他にもいろいろとあります。

まだタイでは IPO は活発ではなく
購入すれば確実に上がっていくと言うのはそれほどありません。
(と言うより初日落ちてしまうケースがよくあります。)

ただ日系証券会社では結局タイの地場証券会社等々と組んでいますので、
IPO の案内などができません。
(IPO が購入できないのです。) ちょっとこれは残念ですね。

ただし、やはり日本の証券会社の方が
何かクレームや、パスワードの確認、取引に関する質問などが
あった場合は便利ですよ。

他にもいくつか使った後でわかったりする違いがあります。
良く調べてから取引する証券会社を選びましょう。

管理人のコメント：

日本に帰国していたので、ちょっと日本の証券会社にも電話をしていろいろ聞いてみよう
とある証券会社 A 社にコンタクトしてみました。

でも・・・

大変対応が悪かったです・・・。

丁寧に話していましたがいろいろ聞いてしまったのが悪かったのか、
最後にはがちゃ切りされてしまいました。

現在いろいろとどこの証券会社に申し込んで
海外取引をしようか悩んでいる方も多いのかもしれませんが。
(日本ではボーナスを投資へ！と言うコピーが多かったですね。)

ただ、やはり申し込んでみる前に
電話して顧客対応のレベルは確認するべきだと思います。

いくら初心者の質問でもそこで悪い対応をする証券会社では

あとあとひどいサービスが出てくる可能性があると思います。

わたくしは前の職場では富裕層をターゲットとしたお仕事をしていたので、自分からお客様の電話を切るなんてもつての他だときつく言われていました。現在もお会いする方すべて丁寧な対応を心がけています。

なのでちょっと自分への戒めの意味も込めて書いてみました。

□□ No 2 タイ株上級者編です ■■■
過去のタイ株関連メルマガであまり触れられてなかったコーナーを作りました。

●● 016 PTTCH です。○○
タイでの石油化学大手です。

ほぼ BtoB (ビジネスが法人向け) の企業ですので、タイの中でも知名度はいまいちですが、大きな企業です。PTTケミカルは、タイオレフィンズ (TOC) とナショナル・ペトロケミカル (NPC) が統合して、2005年度の12月に設立されました。こちらで生産される代表的なものの一つにオレフィンがあります。オレフィンと言うのは、不飽和炭化水素の炭素二重結合を1つ以上持つ物質の総称とされていて、エチレンやプロピレンなどのような合成樹脂向け原料となります。これらはプラスチック袋をはじめとして、家電製品、自動車部品、コンピューター機器や医療器具の部品など、あらゆるプラスチック製品に使われる原料です。その他にも高密度ポリエチレン(HDPE)、粗製ベンゼンなどさまざまな石油化学製品を扱っています。PTTケミカル (PTTCH) は今後も他の化学メーカーとの合併・統合が噂されているので、まだ拡大・成長・再編する可能性が高い企業となっています。

PTTグループは子会社の再編が2006年度から本格化しています。他にもPTTフェノール、PTTポリエチレンなどなど株式構成の再編を進めています。

タイ国内化学大手のPTTケミカル (PTTCH) の2006年度の決算は2005年の12月に設立された影響でほぼ初年度の業績発表になっています。売上は738億2100万バーツ。純利益は173億500万バーツの数字でした。

この数字は昨年の中2社の前年度よりも増収増益になっています。MEG (モノエチレングリコール) の新規工場建設による生産量の拡大、その他にもオレフィンマージンの拡大、エチレンの増産が売上上昇に寄与しました。他にも中国での需要が逼迫したために純利益の利幅も上げる形になりました。

PTTCH では財務評価の方法を変更をしたり、今後も新規の増産事業へ投資していく方針です。ただし2007年度の第1四半期では工場の生産調整、点検期間を設けるために売上にも一時的に影響を与えるとされています。

□□ No 3 タイ国内ニュース編です ■■

タイでも少しずつ IPO の数が出てきそうです。
ノルウェー通信最大手テレノール傘下のタイ携帯電話キャリア、契約数2位である
トータル・アクセス・コミュニケーション(TAC)が6月22日
SET に上場しました。
この TAC 社はシンガポール証券取引所にも上場していきまして、
タイ企業初の二重上場となりました。

コードは DTAC となります。
今回は初日に値上がりしました。流石です。
ちなみにわたくしとしては昨年の2006年に IPO を阻止され、
シンガポールにて上場した
タイ・ビバレッジ (THBEV) もぜひタイへ戻って来て上場してもらいたいですね。
こちらの会社は象ビール (ビアチャーン) を販売していきまして、
5月に原宿の代々木公園で開催されたタイ・フェスティバルでも
試飲された方がいたのではないのでしょうか？
上記2社はタイでも有数の大企業です。

今回の IPO では DTAC は申し込みの人气が相当あったようです。
まあキャリア2位で日本で言う AU のような会社の上場ですので、
人气が出るのも当然でしょうか。

初心者の方にも分かりやすく説明すると
これまではタクシン前首相が率いる AIS (ADVANC) への影響力が強く、
AIS がマーケットシェアも50%に近い数字をたたき出していましたが、
DTAC と第3位である TrueMove の追い上げが強くなっています。
DTAC のシェアは30%ほどになっています。

ちなみに AIS,DTAC はブランド名になっています。

□□ No 4 追伸です ■■

日本にずいぶんと長く滞在しています。
3週間になる前に帰国しようと思います。
なんだか海外に長く住んでいると日本にいると不思議な感覚です。

今回埼玉県で発生した JR の鉄道停電に見舞われました。
列車内に4時間閉じ込められてしまったかたもいて、気分が悪くなって
病院へ運ばれたかたもいらっしたようです。

